

先日、使用していたヘッドホンが壊れました。耳当ての部分がバンドからネジごと外れ、取れてしまったのです。その際ネジも紛失してしまったので買いに行ったところ、海外製のため合うネジが無く断念。修理にも行ったのですが、やはり同様の理由で断られてしまいました。

仕方がないので、買い替えようと考えたのですが、これが意外に難航しています。理由は接続方式の違い。調べたところヘッドホンは、バランス接続とアンバランス接続の2種類があるようで、私が購入しようとしている価格帯のものは、現在バランス接続が主流になっています。しかし持っているプレイヤーはアンバランス対応しかないので、バランス接続では良い音で聴くことができません。一応、バランス—アンバランス変換ケーブルもあるのですが、音質を担保できるものは値段が高いですし、また変換分コードが長くなり、かなり使い勝手が悪そうです。そのためアンバランス対応のものをと思うのですが、数が少なく、評判の良いものは値段が数万高くなってしまいます。どこかで妥協しなければ、購入は難しそうですが、なかなか決断ができず、古い2,000円以下のヘッドホンを使用し続ける羽目に陥っています。(S.S)

高血圧のため10年間毎日測定し続けてきた血圧計が、ある日突然、腕を締めつけるだけ締めつけた拳句、結局エラーで空気が抜けてしまうようになって

たのです。何度試しても変わらずで、とうとう壊れてしまったようでした。調べてみれば、血圧計の寿命は5年あるいは30,000回使用とのこと。よくもったものです。

さて、困った。新しいのを買わなければ。最近の血圧計は、5,000円未満から3万円強まで幅広いラインナップが揃い目移りするのですが、どうせなら記録を残すうえでの困りごと、手入力をしないで済むものにしよう決めました。これまで計測結果は、スマホの血圧記録アプリに手で入力していたのですが、体重や体脂肪等も入力していたので、体重計に乗って出た結果と併せて紙にいったん書き写してからまとめて入力しており、記入ミスや入力ミス、そもそも時間と手間がかかるのが面倒くさかったのです。

ネットで検索すると、計測結果をBluetooth接続でスマホの専用アプリに自動で記録できる血圧計がありました。これまで使用していた機種と同じメーカーのため、測定値も信頼できるし、アプリのインターフェースも洗練されており、一発で気に入りました。しかも、例えば1カ月なら1カ月間、記録したデータをグラフと表で紙に印刷することもでき、かかりつけ医を受診する際の参考資料としても最適なようです。

体重計も10年選手のため、この際、そのアプリに連動できるものに買い替えてしまおうかとひそかに企んでいるところです。(Y.H)

こんな時が危ない!

- 工事繁忙期よりも、終期、特に撤収作業時
- 非常に危険と思われる作業よりも、それほど危険と思われない作業時
- 同一作業が長く続くよりも、1日~2日とか半日、あるいはもっと短時間で終わる作業時
- わかりきった常識的な作業手順を守らない時
- 作業時に積極的な人が、指示以外の作業をした時
- 安全設備を取りつける段取りに取りかかる前
- 教育を十分うけているはずの職長や工事監督がルール無視の行動をした時
- 立入り禁止箇所、危険箇所を承知していて、そこへ行った時

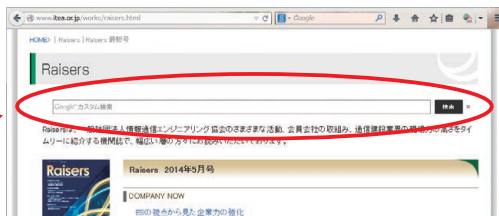
「Raisers」はホームページでも閲覧可能です!

「Raisers」の最新号から過去記事までホームページで閲覧することができます。

<http://www.itea.or.jp/works/raisers.html>

また、ホームページ内の検索窓から

読みたい記事の関連キーワードにより全文検索も可能です。是非ご活用ください。



Raisers第 67 巻 第2号 (通巻第735号) 2019年3月5日印刷 2019年3月10日発行

本体価格600円(税別) ※会員、特別会員の本誌の購読料は、会費の中にこれを含む

■編集 一般社団法人情報通信エンジニアリング協会 〒150-0033 東京都渋谷区猿樂町3-3

Tel. (03) 3464-3211(代) Fax. (03) 3464-3216

■発行所 一般社団法人電気通信協会 〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-1-1 如水会ビルディング6階

Tel. (03) 3288-0608 Fax (03) 3288-0615

(本誌掲載記事の無断転載を禁じます。)

